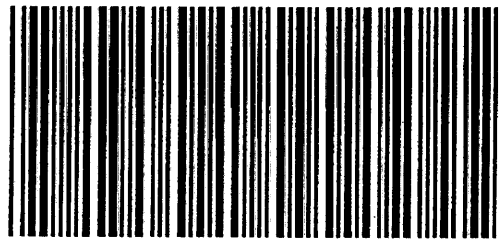
●購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。	
購入店名	電話（　　）
購入年月日　　　　　年　　月　　日	
●万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは、右の内容をお知らせください。	形名=（本体）CP-S220J 症状=できるだけ詳しく 道順=付近の目印も

株式会社 日立製作所　　デジタルメディアシステム事業部

〒244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地
電話 (045)866-6305

QR46442U

QR46442

Printed in Japan TT-Y(J)

HITACHI

液晶プロジェクター

形名

CP-S220J

取扱説明書

使用上のご注意

取扱説明

このたびは、日立液晶プロジェクターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に	この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

液晶プロジェクター

CP-S220J

使用上のご注意

ご使用のまえに

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

絵表示の意味

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 「破裂注意」

 してはいけない。「禁止」を示します。

 「分解禁止」

 必ず行う。「強制」を示します。

 「電源プラグをコンセントから抜くこと」

安全上のご注意

⚠警　告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜いてください

煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする、本機および電源コード、ケーブル類などに損傷がある、本機の内部に異物（水、金属など）が入ったなどの異常や故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

* 使用する電源コンセントにはすぐに手が届くようにしてご使用ください。

電源プラグをコンセントから抜くこと

■異物や液体を入れないでください

内部に金属類などの異物や水などの液体が入ると、火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

特に、お子様やペットにはご注意ください。

* 風呂場やシャワー室で使用しないでください。
* 雨や水辺など、ぬれるところや湿気の多いところは避けてください。
* 本機の上や周辺に花瓶、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かないでください。
* 本機の上や周辺に金属や燃え易いものを置かないでください。

■分解したり、改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

* キャビネットを開けないでください。
* 内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

分解禁止

■衝撃を与えないでください

本機を落としたり、破損したりするとけがや故障の原因となり、そのままでのご使用は火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

⚠警　告

■不安定な場所に置かないでください
落ちたり、倒れたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままでのご使用は火災、感電の原因となります。

* ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所に置かないでください。
* キャスター（車）付きの台にのせる場合はキャスター止めをしてください。
* 横向き、レンズの上向き、下向きには置かないでください。

■高温に注意してください
使用中や使用後しばらくは、本機や通風孔から出される空気は高温になり、火災、火傷の原因となります。また、内部の温度が上がりすぎると故障の原因となることがあります。

使用中や使用後しばらくは、レンズや換気孔周辺などに触れたり、近くにものを置かないでください。特に、お子様やペットにはご注意ください。

* 本機は周囲の壁やものなどから30cm以上離して設置してください。
* 金属などの熱が伝わり易い台の上で使用しないでください。
* レンズやファン、換気孔のそばにものを置かないでください。
* 通風孔を塞がないでください。
* 通風孔のある面を下にして使用しないでください。
* テーブルクロスや布などをかぶせないでください。
* カーペットや布団の上に置いて使用しないでください。

■ランプの点灯中はレンズをのぞかないでください
強い光が投射されていますので視力障害などの原因となります。

特に、お子様やペットにはご注意ください。

■指定（本機に表示）の電源電圧で使用してください
指定の電源電圧以外でのご使用は、火災、感電の原因となります。

⚠警　告

■電源は正しく接続してください
電源コードの取扱いや接続方法を誤ると火災、感電の原因となります。

* ぬれた手で電源コードに触れないでください。
* 接続の前に、電源コードの接続部や周辺に付着した埃や金属類を乾いた布でふき取ってください。
* 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。ゆるみやがたつきのあるコンセントはご使用にならないでください。

■光源ランプの取扱いに注意してください
ランプの取扱いを誤ると破裂、火傷の原因となり、破裂するとけがの原因となります。

破裂注意

* ランプはガラス製品です。衝撃を加えたり傷つけたりしないでください。
* ランプ交換は電源スイッチを切って電源プラグを抜き、45分程度おいてランプを十分冷ましてから行ってください。高温状態での交換はおやめください。
* ランプには寿命があります。交換の際には、本書の取扱説明「ランプについて」の項をご覧のうえ、販売店またはサービス会社（添付「サービス会社一覧表」ご参照）にご連絡ください。古い（使用済み）ランプは使わないでください。

■電源コードや接続ケーブルを損傷しないように注意してください
損傷のある電源コードや接続ケーブルをそのまま使用すると火災、感電の原因となります。

* 電源コードや接続ケーブルの上に本機や重いものをのせないでください。また、カーペットやカバーなどの下に隠れて、重いものがのせられないように注意してください。
* 電源コードや接続ケーブルを引っ張らないでください。接続を外す際にはコネクタ部を持って抜いてください。
* 電源コードや接続ケーブルをヒーターなどの発熱源のそばに置かないでください。
* 電源コードや接続ケーブルを無理に曲げないでください。
* 電源コードや接続ケーブルを加工しないでください。

⚠警　告

■電池の取扱いに注意してください

電池（リモコン送信機用）の取扱いを誤ると破裂の原因となったり、火災や人体への障害の原因となります。

* お子様やペットの届かないところへ保管してください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師にご相談ください。
* 電池を火や水の中に入れないでください。
* 電池を火気に近づけたり、高温になる場所に置かないでください。
* 電池を金属性のピンセットなどで持たないでください。
* 電池は暗く、涼しく、乾燥したところへ保管してください。
* 電池を短絡しないでください。
* 電池を充電し直したり、分解したり、半田付けしたりしないでください。
* 電池に衝撃を与えないでください。
* 電池は、必ず本書の取扱説明「電池の入れ方」の項に指定の、新しい電池を使用してください。
* 電池を入れるときはプラス(+)とマイナス(−)を確認し、向きを間違えないように注意してください。
* 電池が液漏れした場合は、漏れた液を布などで拭き取り、新しい電池を入れ直してください。漏れた液には直接触れないでください。もし皮膚や衣服に付いてしまった場合は水でよく洗浄してください。
* 電池を廃棄する際は、廃棄を行う地域の法律や条例などに従ってください。

⚠注　意

■移動や運搬の際は衝撃を与えないでください

落ちたりぶつけたりすると、けがや破損、故障の原因となり、そのままでのご使用は火災、感電の原因となることがあります。

* 使用中には移動しないでください。移動の際は電源スイッチを切って電源プラグや接続ケーブを抜き、スライドレンズドアを閉じてください。
* 落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えないでください。
* キャリングバックが付属されている製品については、運搬の際にはこれを使用してください。キャリングバックについてはキャリングバックの説明書をご覧ください。

■本機の上に物を置かないでください

不安定になって落ちたり倒れたりすると、けがや破損、故障の原因となり、そのままでのご使用は火災、感電の原因となることがあります。

■湿気や埃の多いところには置かないでください

湿気や埃の多いところ、油煙や湯気が当たるところに置くと、火災、感電の原因となることがあります。

* 調理場や加湿器の近くには置かないでください。

■高温になるところには置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えて損傷や故障の原因となり、そのままでのご使用は火災、感電の原因となることがあります。

本機やリモコン送信機などの付属品を、直射日光やヒーターなどの発熱源の近くに置かないでください。

■電源切断の際は電源スイッチを切るだけでなく、電源プラグを抜いてください

不完全な電源の切断は火災、感電の原因となることがあります。

* 安全のため、長時間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜いてください。
* お手入れの際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて行ってください。

電源プラグをコンセントから抜くこと

⚠注　意

■2年に1度は内部のお手入れを販売店にご依頼ください

内部に埃がたまったまま使用し続けると火災、故障の原因となることがあります。
内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。
お手入れの費用等については販売店にご相談ください。
* ご自分での内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。

お守りください

■リモコン送信機に衝撃を与えないでください

破損や故障の原因となることがあります。
* リモコン送信機を落とさないでください。
* リモコン送信機の上に本機や重いものをのせないでください。

■レンズの取扱いにご注意ください

* レンズを傷つけないため、使用しないときはにスライドドアを閉じてください。
* レンズには直接手を触れないでください。レンズがくもったり汚れたりすると、画像品質に悪い影響を及ぼすことがあります。
* レンズのお手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃に使用するもの）で行ってください。レンズを硬いもので傷つけたりしないようご注意ください。

■エアーフィルターは100時間を目安に清掃してください

エアーフィルターが埃や汚れでつまると「吸気口をチェックしてください(CHECK THE AIR FLOW)」のようなメッセージが表示されたり、内部の温度上昇を防ぐために自動的に電源がオフになることがあります。
正常な換気のため、こまめに清掃を行ってください。
* エアーフィルターを外した状態では電源を入れないでください。
* エアーフィルターを損傷したり無くしたりした場合は、本書の取扱説明「エアーフィルター」の項に指定のエアーフィルターを販売店にてお求めください。

■キャビネットとリモコン送信機の取扱いについて

誤った取扱いは表面の変質や塗装がはがれる原因となることがあります。
* 本機のキャビネットやコントロールパネル、リモコン送信機のお手入れは、ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸してよく絞り、軽く拭いてください.さらに、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。中性洗剤の原液は使用しないでください。
* スプレー、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
* 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
* ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

お守りください

■強い光を避けてください

直射日光や照明などの強い光がリモコン受光部に当たると、リモコン操作が正常に働かない場合があります。

光源を遠ざけてご使用ください。

■電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、画面が乱れたりスピーカーから雑音を発生する原因となることがあります。

* 携帯電話やトランシーバなどの電波を発生する装置は本機から離れてご使用ください。

■映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投映装置です。投映面（スクリーンや壁）の特性により、画像の色合いやコントラストがテレビやパソコンのCRTモニタとは異なることがあります。

* 偏光スクリーンは使用しないでください。画面が赤味を帯びて見える場合があります。

■ノートパソコンと接続する場合について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効に（LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定）してください。詳しくは、パソコン本体の説明書をご覧ください。

■パソコンなどのトラブルを防ぐため、特に指示のない場合は、以下の順序で電源オン、オフを行ってください

* 電源オンは、コンピュータやビデオテープレコーダーより先に行ってください。
* 電源オフは、コンピュータやビデオテープレコーダーより後に行ってください。

■目の疲れにご注意ください

時々画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量で

とくに夜間は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたり音量を下げて、隣り近所への十分配慮してご使用ください。

液晶プロジェクター

CP-S220J 取扱説明

このたびは、日立液晶プロジェクターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に	この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

お知らせ	* 本書の内容に関しては、製品の仕様を含め、予告無しに変更することがあります。 * 本書の運用結果については責任を負いかねますので、ご了承ください。 * 本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

商標について：

* PS/2、VGAおよびXGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
* Apple、Macintosh、MacおよびADBはApple Computer, Inc. の登録商標です。
* VESAおよびSVGAはVideo Electronics Standard Associationの商標です。
* WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。
* その他の社名および商品名等は各社の商標または登録商標です。

取扱説明

もくじ

特　長

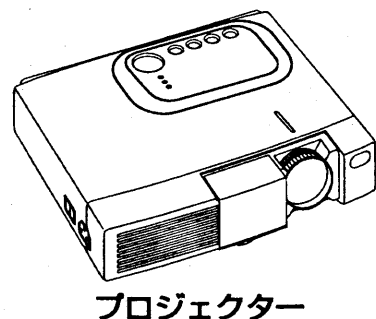
本機は、各種のコンピュータ信号およびNTSC/PAL SECAM方式のビデオ信号をスクリーンに映し出せる投射型液晶プロジェクターです。設置スペースをとらず、簡単に大画面が実現できます。

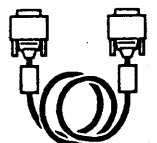
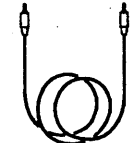
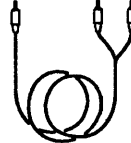
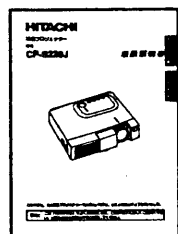
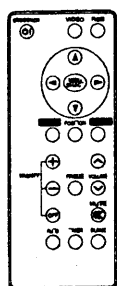
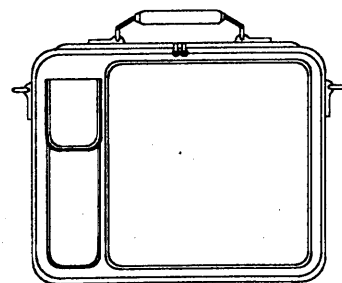
* **高輝度**
  UHBランプ、高効率光学系の採用により高輝度を実現します。
* **拡大機能**
  お好みの部分を拡大表示できる拡大機能を装備しました。
* **台形歪み補正機能**
  歪みのない画像をすばやく再現できます。

お使いになる前に

同梱品の確認

箱の中に、次のものが同梱されているかご確認ください。万一不足しているものがあれば、すぐに、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ 梱包材は、修理や引越しの時のために保管しておいてください。

プロジェクター

電源コード

RGBケーブル

ビデオケーブル

オーディオケーブル
（ステレオミニ）

取扱説明書
（本書）

リモコン送信機
（電池付き）

キャリングバック

お使いになる前に（つづき）

各部の名称

プロジェクターを左前から見た図

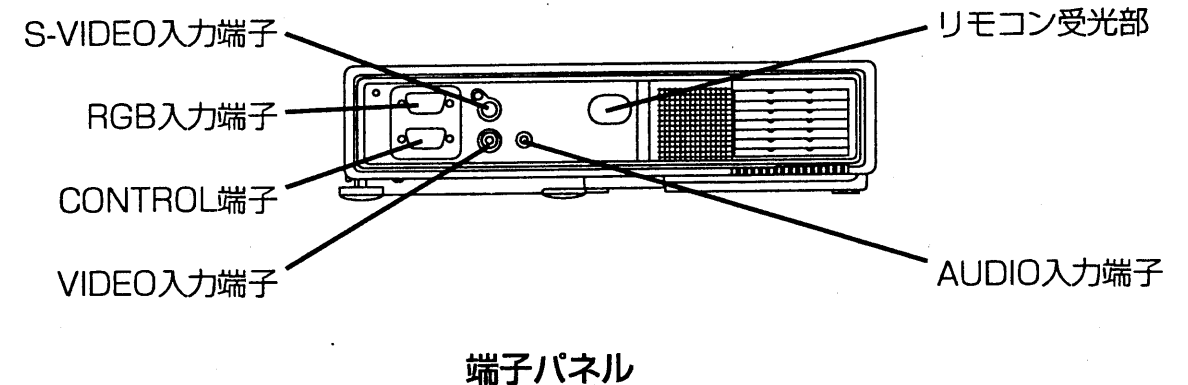
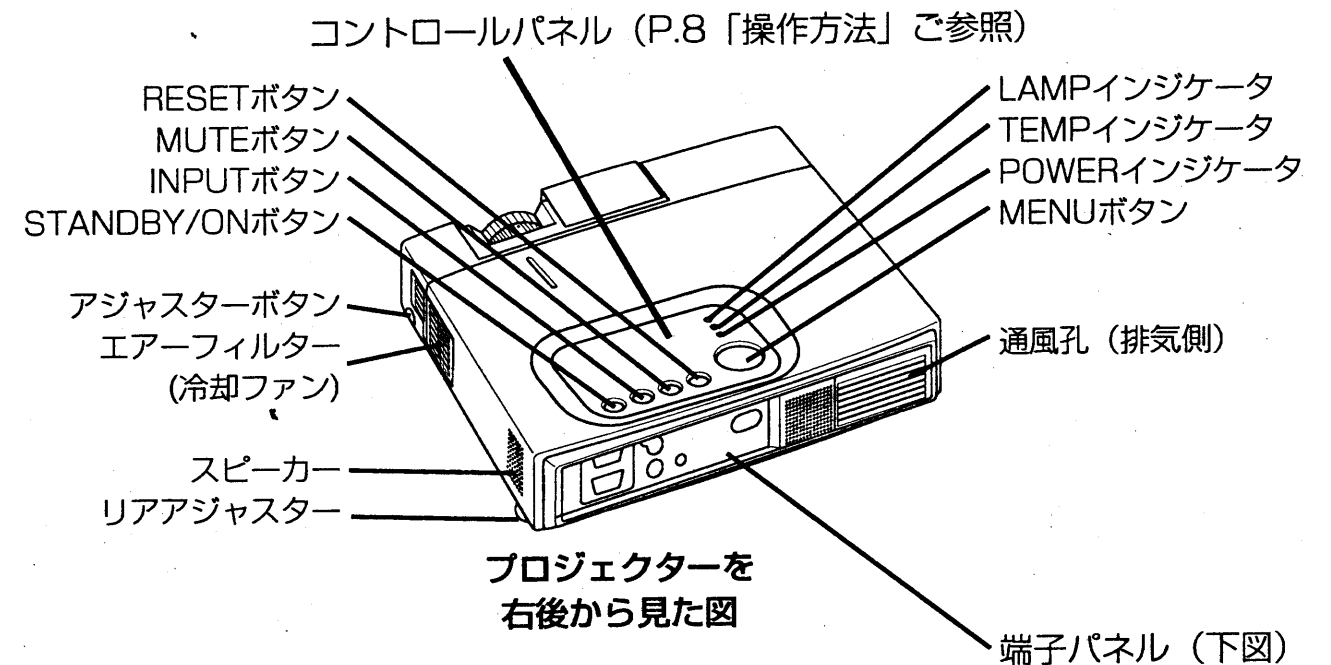
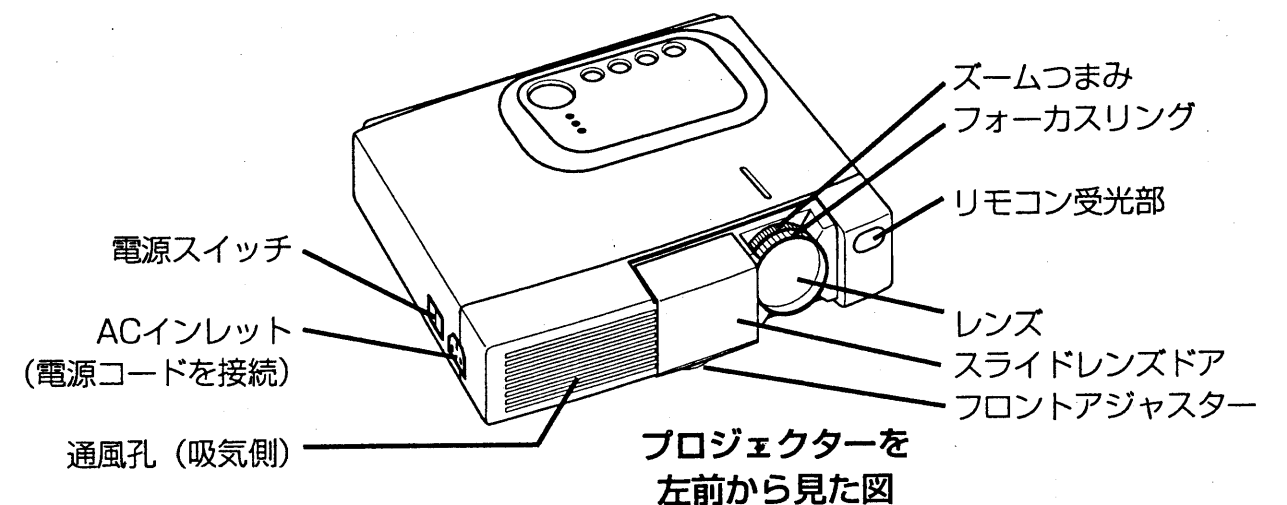
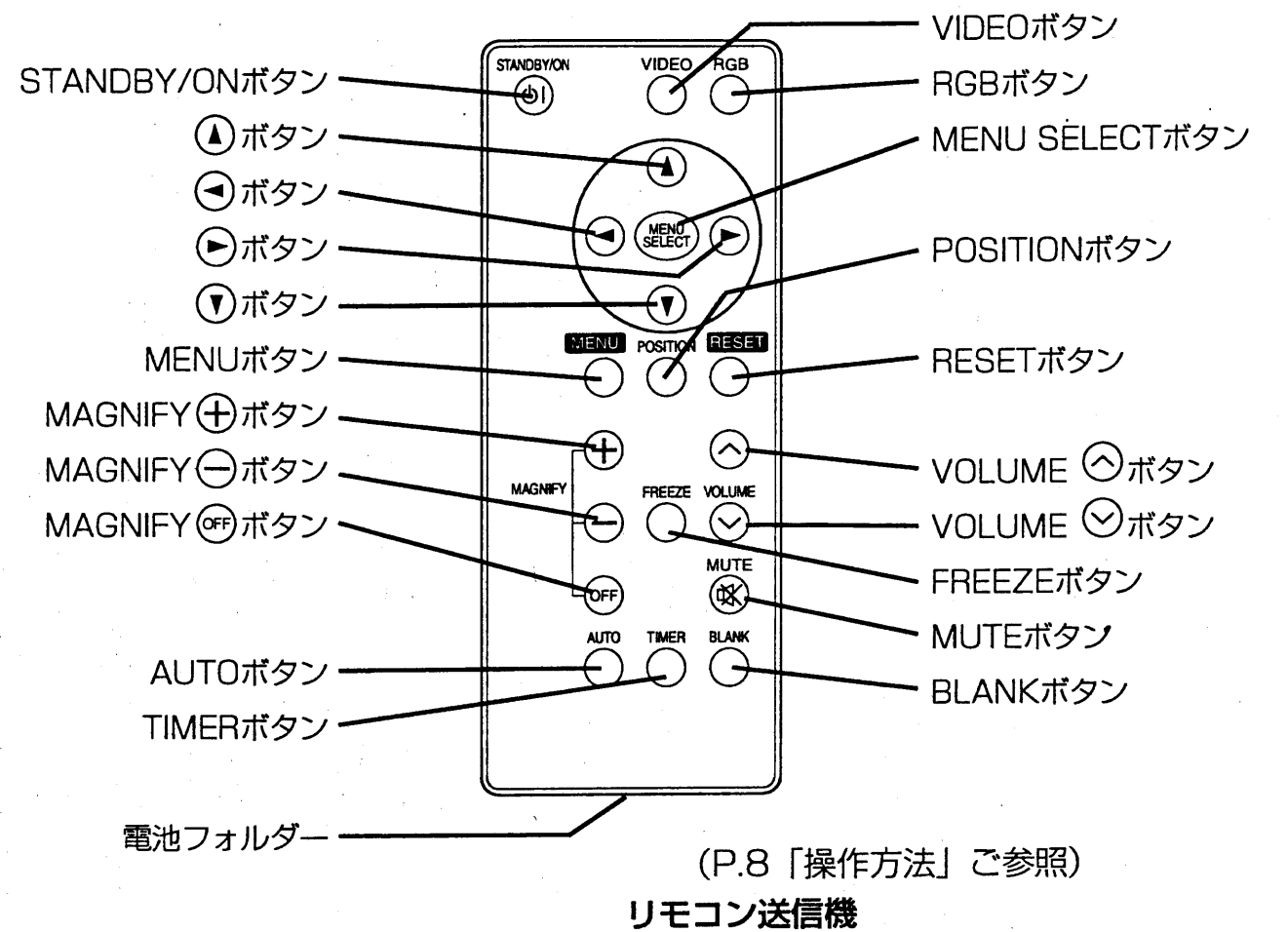
プロジェクターを右後から見た図

端子パネル

取扱説明

お使いになる前に（つづき）

各部の名称（つづき）

(P.8「操作方法」ご参照)

リモコン送信機

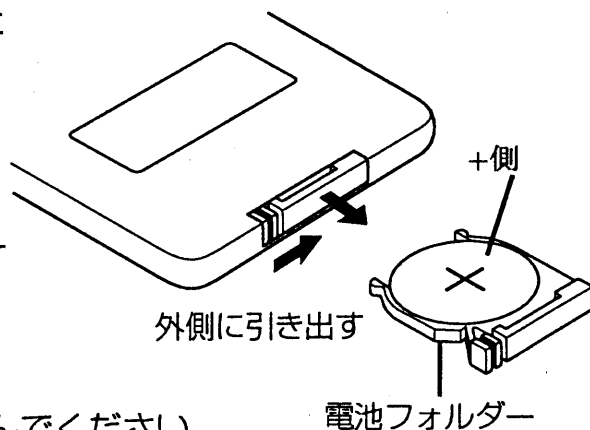
電池の入れかた

⚠注意	＊電池の誤った取扱いは破裂やけがなどの原因となることがあります。「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しく取り扱ってください。 ＊３Vマイクロリチウム電池CR2025を使用してください。 ＊電池は、子供やペットの届かない所に保管してください。

最初は:

ご購入時には、電池がリモコン送信機に入っています。保護フィルム（電池フォルダー部に差し込まれている透明フィルム）を引き抜くと使用することができます。

新しい電池と交換するには:

1. リモコン送信機を裏側にしてください。
2. つめを矢印の方向に押しながら電池フォルダーを引き出します。
3. 古い電池を取り除きます。
4. +側を上にして新しい電池を取り付けます。
5. カチッと音がするまで電池フォルダーを押し込んでください。

設　置

液晶プロジェクターとスクリーンの設置

⚠注意	誤った設置や設置作業は、火災やけがの原因となることがあります。「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。

下図および下表を参考に画面サイズと投映距離をきめてください。

上から見た図

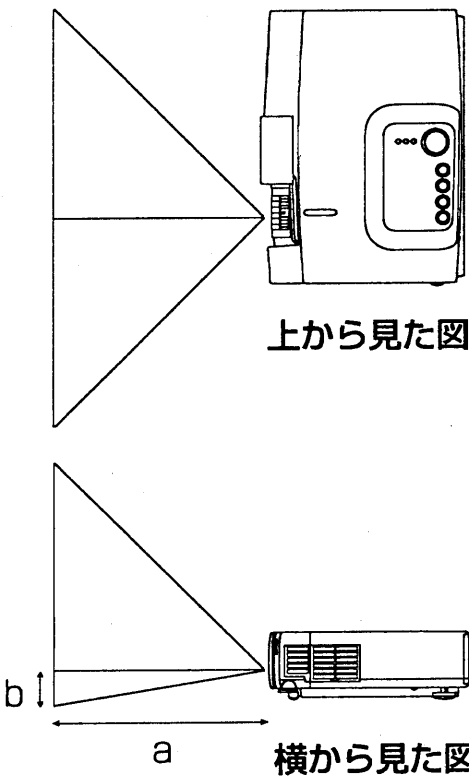
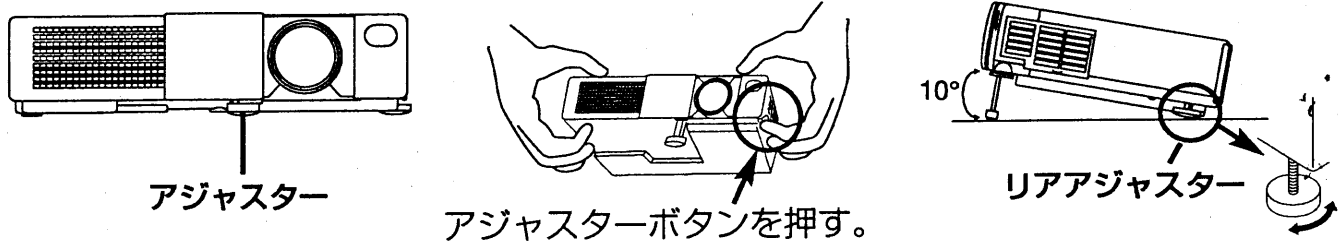
横から見た図

a: 液晶プロジェクターからスクリーンまでの距離（表中aはフルサイズ（800 x 600ドット）時）
b: レンズセンターから画面下までの長さ（a, b公差+/-10%）

表1. 設置について

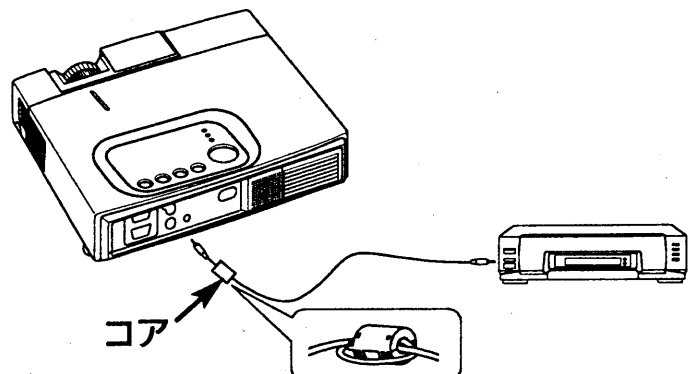
スクリーンサイズ (m(inch))	a (m)		b (cm)
	最小	最大	
1.0(40)	0.9	1.2	7.6
1.5(60)	1.5	1.8	12.7
2.0(80)	2.0	2.4	17.8
2.5(100)	2.4	2.9	22.9
3.0(120)	2.9	3.5	25.4
3.8(150)	3.7	4.4	33.0
5.0(200)	4.9	5.9	43.2

お守りください	下記の角度調節を除き、液晶プロジェクターは水平でご使用ください。横向きやレンズの上向き、通風孔をふさぐ置きかたでのご使用は、故障の原因となりますのでおやめください。

角度調節

底部のアジャスターを利用して、投映角度を調節してください。フロントアジャスターは約0°〜10°の範囲で角度を調整できます。

1. アジャスターボタンを押しながら、液晶プロジェクターの正面側を持ち上げて角度を調節してください。
2. 角度を決め、アジャスターボタンをはなしてフロントアジャスターを固定します。
3. 必要に応じ、リアアジャスターを回して左右の傾きを調節してください。

⚠注意	本機を保持しない状態で、アジャスターボタンを押さないでください。落としたり倒れたりすると、けがや故障の原因となります。

取扱説明

ケーブル接続

⚠注意	誤った接続や接続作業は、感電や火災の原因となることがあります。「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しく接続してください。接続作業は初めに接続する機器の電源を切ってから行ってください。

お守りください

＊接続前に接続する機器の取扱説明書をお読みになり、本機の仕様と合うことをご確認ください。

＊接続ケーブルは付属品または所定のものをご使用ください。これらのケーブルには両端または片端にコアがついているものがあります。片端にだけコアのついているものは、コア側をプロジェクターに接続してご使用ください。

RGB信号の入力:

本機のRGB入力端子とコンピュータのRGB出力端子とを付属のケーブルで接続してください。接続は固定ネジでしっかり固定してください。
Macintoshパソコンと接続する場合には別売のMacアダプターをご使用ください。信号についての詳細はP.22「仕様」およびP.24「表12. コンピュータの信号例」をご覧ください。

お知らせ	コンピュータによっては、複数の表示画面モードを持っているものがあります。この中には、本機では対応できないモードが含まれる場合があります。

ビデオ信号の入力:

本機のVIDEO入力端子とビデオ装置の映像信号出力端子とを付属のビデオケーブルで接続してください。
S端子付ビデオ装置の場合は、別売のS-VIDEOケーブルをご使用になり、本機のS - VIDEO入力端子と接続してください。

音声信号の入力:

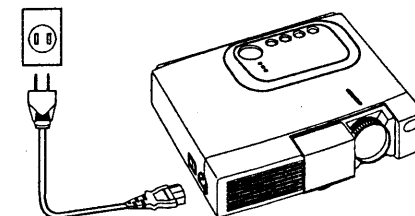
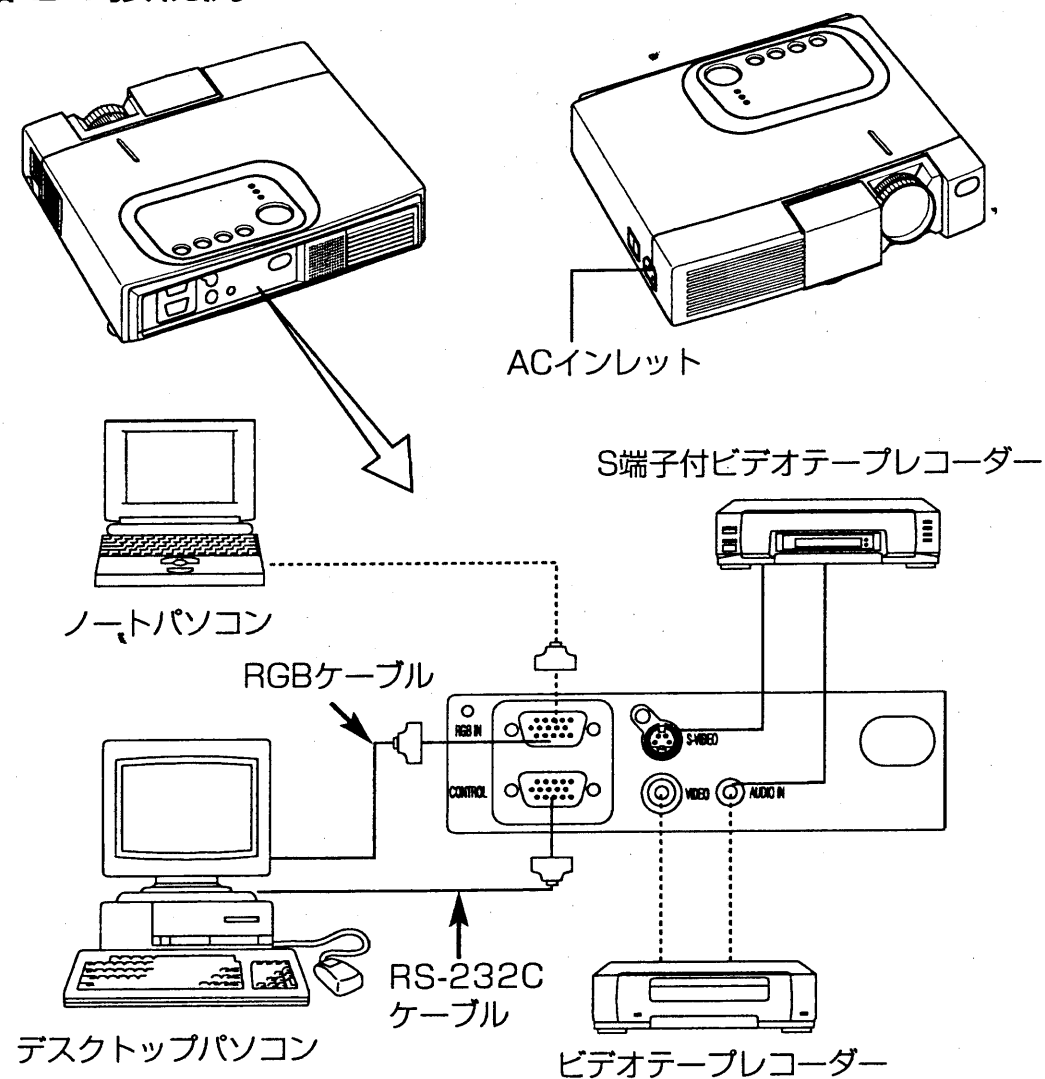
本機のAUDIO入力端子と音声出力機器の音声信号出力端子とを付属のオーディオケーブルで接続してください。

RS-232C通信:

本機のCONTROL端子とコンピュータを別売のRS-232Cケーブルで接続してください。

お知らせ	所定のRS-232Cケーブルには説明書が添付されています。通信コマンドなどについては説明書をご覧ください。

電源接続

⚠警告	**ACインレット接続上のご注意** 付属の電源コードをACインレットの根元まで確実に差し込んでください。不完全な接続は感電や火災の原因となります。 「使用上のご注意」をよくお読みの上、接続を行ってください。

外部機器との接続例

プラグ & プレイ

本機はVESA DDC 1/2Bに対応しています。VESA DDC (Display Data Channel) に対応のパソコンに接続して使用すると、プラグ & プレイを実現できます。
（プラグ & プレイは、パソコンと、表示装置を含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。）

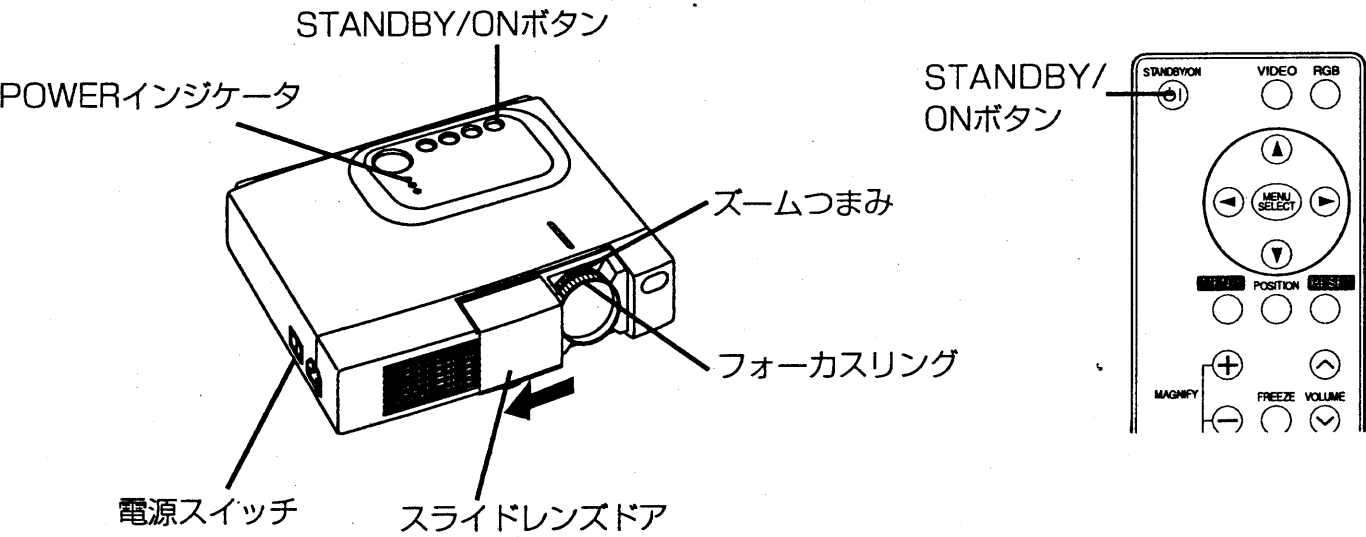
お知らせ	プラグ＆プレイ機能をご使用の場合は、付属のRGBケーブルをご使用ください。他のケーブルではDDC信号ピン（⑫, ⑭, ⑮）が接続されていない場合があります。

操作方法

お守りください	ご使用の前には、必ず「使用上のご注意」をよくお読みになり、安全にご注意の上ご使用ください。

電源オン/オフ

電源オン

1. 電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
2. 電源スイッチの「 I 」（入れる）側を押してください。スタンバイモードが設定されてPOWERインジケータが橙色に点灯します。
3. コントロールパネルまたはリモコンのSTANDBY/ON ボタンを押してください。ウォームアップが開始されてPOWERインジケータは緑色に点滅します。
4. 電源オンが完了するとPOWERインジケータは点滅を終え、緑色に点灯します。これを確認して、スライドレンズドアを開けてください。
5. ズームつまみをまわして、画面サイズを調節してください。
6. フォーカスリングをまわして、フォーカスを合わせてください。

電源オフ

1. コントロールパネルまたはリモコンのSTANDBY/ON ボタンを約2秒間押してください。プロジェクターのランプが消え、ランプの冷却が開始されます。ランプ冷却中はPOWERインジケータが橙色に点滅します。POWERインジケータが点滅中はSTANDBY /ON ボタンを押しても無効です。
2. ランプ冷却が完了するとスタンバイモードが設定され、POWERインジケータは点滅をやめて橙色に点灯します。これを確認して、電源スイッチの「O」（切る）側を押してください。
3. 電源オフが完了するとPOWERインジケータが消えます。スライドレンズドアを忘れずに閉じてください。

お知らせ	電源インジケータが緑色のときや点滅中に電源スイッチを切ると、プロジェクターのランプの寿命を短くしまので、非常時以外はおやめください。

操作方法（つづき）

基本操作

表2に示す基本操作は、プロジェクターのコントロールパネルや付属のリモコンによって簡単に行うことができます。（※の項目はコントロールパネルで操作できます。）

お知らせ	リモコンは、プロジェクターのリモコン受光窓の正面から約3m、左30度、右30度の範囲でご使用ください。また、強い光や障害物はリモコン操作の妨げとなることがありますのでご注意ください。

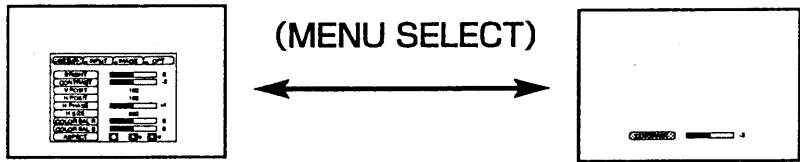



表2. 基本操作

項目	操作内容
入力切り換え **(INPUT SELECT)**	**入力信号の順次切り換え：**INPUT⊖ボタンを押す。※ RGB ⇒ VIDEO ⇒ S-VIDEO （⇒ RGB） **RGB入力の選択：**RGBボタンを押す。 VIDEO/S-VIDEO ⇒ RGB **VIDEO/S-VIDEO入力の選択：**VIDEOボタンを押す。 RGB ⇒ VIDEO/S-VIDEO　　S-VIDEO ⇔ VIDEO *入力信号変化時、選択された信号名が約3秒間表示されます。
位置調節 **(POSITION)**	**位置調節モードの設定/解除：**POSITIONボタンを押す。 位置調節モードではアイコン[ ]が表示されます。 **画像位置の調節：**位置調節モードで◀,▶,▲,▼ ボタンを押す。 * VIDEO/S-VIDEO入力では、拡大モードのときのみ有効です。 * 何も操作を行わない状態で約10秒経過すると、アイコン[ ]が消えて、位置調節モードは自動的に解除されます。
リセット **(RESET)** ※	**メニュー項目の初期化：**該当項目を選択してRESET⊖ボタンを押す。 **位置調節の初期化：**位置調節モードでRESET⊖ボタンを押す。（RGB入力時のみ） * 音量(VOLUME)と言語表示(LANGUGE)、クロック位相(H PHASE)は初期化されません。
拡大 **(MAGNIFY)**	**拡大モードの設定：**MAGNIFY⊕ボタンを押す。 **拡大領域の移動：**拡大モードで「位置調節」を行う。 **拡大倍率の調節：**拡大モードでMAGNIFY⊕/⊖を押す。 **拡大モードの解除：**MAGNIFY OFFボタンを押す。 * 「オートアジャスト（AUTO)」「アスペクト(ASPECT)」「入力切換え(INPUT SELECT)」「VIDEO(VIDEO)」の実行/設定、または入力信号の変化によって、拡大は解除されます。
静止 **(FREEZE)**	**静止モードの設定/解除：**FREEZEボタンを押す。 静止モードではアイコン[❚❚]が表示され、画像が静止します。 * 「位置調節」「音量（VOLUME)」「消音」「オートアジャスト（AUTO)」「ブランク・オン/オフ」または「メニュー・オン/オフ」の実行/設定、入力信号の変化によって、静止は解除されます。 * 静止している画像で静止を設定した場合、解除を忘れないようにご注意ください。

（次ページにつづく）

表2. 基本操作（つづき）

項目	操作内容
音量 (VOLUME)	**音量の調節：** 小さく VOLUME▽ ⇔ VOLUME△ 大きく
消音 (MUTE)※	**消音モードの設定/解除：** MUTE⊗ボタンを押す。 消音モードでは音声が消去されます。
オートアジャスト (AUTO)	**RGB入力時の自動調整：** AUTOボタンを押す。 水平位置、垂直位置、クロック位相、水平サイズが自動調整されます。アプリケーション表示では、ウィンドウを最大表示した状態で実行してください。 **VIDEO/S-VIDEO入力時の自動調整：** AUTOボタンを押す。 入力信号に合った信号方式が自動的に選択されます。入力（INPUT）メニューの「VIDEO」が「オートアジャスト（AUTO）」に設定されている場合のみ有効です。 * 実行には10秒程度の時間がかかります。また、入力信号によっては正しく機能しない場合があります。
タイマー・オン/オフ (TIMER ON/OFF)	**タイマの開始/終了：** TIMERボタンを押す。 タイマー表示は、その他（OPT.）メニューの「タイマー（TIMER）」で設定された初期値（1～99〔分〕）から0までを秒単位でカウントダウンして表示します。 * ブランクモード、静止モードではタイマーは表示されません。
ブランク・オン/オフ (BLANK ON/OFF)	**ブランクモードの設定/解除：** BLANKボタンを押す。 ブランクモードでは画像表示が消去され、画面全体が表示（IMAGE）メニューの「ブランク（BLANK）」で設定された色になります。
メニュー・オン/オフ (MENU ON/OFF)※	**メニュー表示の開始/終了：** MENUボタンを押す。 * 何も操作を行わない状態で約10秒経過すると、メニュー表示は自動的に終了します。
メニュー切り換え (MENU SELECT)	**メニュータイプの切り換え：** MENU SELECTボタンを押す。 通常のメニューとシングルメニューを切り換えて選択することができます。シングルメニューでは選択中の項目だけが表示されますが、通常メニューと同様に▲/▼ボタンで別の項目へ移行することができます。 * 映像（SETUP）メニュー使用時のみ有効です。「明るさ（BRIGHTNESS）」などの項目を選択してからMENU SELECTボタンを押してください。 通常メニュー ←(MENU SELECT)→ シングルメニュー

映像（SETUP）メニュー

メニュー上部の「映像（SETUP）」を選択すると、下表に示す調節や設定を行うことができます。映像メニューはRGB入力時とVIDEO/S-VIDEO入力時では内容の一部が異なります。▲/▼ボタンで項目を選び、操作を開始してください。メニューを小さい表示で使用したい場合は、シングルメニューをご使用ください。（表2「メニュー切り換え」参照）

RGB

VIDEO/S-VIDEO

表3. 映像（SETUP）メニュー

項目	操作内容	RGB	VIDEO S-VIDEO
明るさ (BRIGHT)	**調節：** 暗く◀ ⇔ ▶明るく	✔	✔
コントラスト (CONTRAST)	**調節：** 弱く◀ ⇔ ▶強く	✔	✔
垂直位置 (V POSIT)	**調節：** 下に◀ ⇔ ▶上に	✔	—
水平位置 (H POSIT)	**調節：** 左に◀ ⇔ ▶右に	✔	—
クロック位相 (H PHASE)	**調節：** 左に◀ ⇔ ▶右に * ちらつきが無くなるように調節してください。	✔	—
水平サイズ (H SIZE)	**調節：** 小さく◀ ⇔ ▶大きく * 水平サイズを過大に調節すると画像が正常に表示されなくなることがあります。この場合はRESETボタンを押して、水平サイズを初期化してください。	✔	—
画質 (SHARPNESS)	**調節：** やわらかく◀ ⇔ ▶くっきり	—	✔
色の濃さ (COLOR)	**調節：** 淡く◀ ⇔ ▶濃く	—	✔
色合い (TINT)	**調節：** 赤っぽく◀ ⇔ ▶緑っぽく * NTSCまたはNTSC4.43の信号を受信している場合のみ有効です。	—	✔
赤色の濃さ (COLOR BAL R)	**調節：** 淡く◀ ⇔ ▶濃く	✔	✔
青色の濃さ (COLOR BAL B)	**調節：** 淡く◀ ⇔ ▶濃く	✔	✔
アスペクト (ASPECT)	**画像の縦横比を選択：** 4:3[▢]◀ ⇔ ▶16:9[▢]◀ ⇔ ▶4:3 small[▢] **16:9/4:3 small表示の位置選択：** 16:9[▢]/4:3 small[▢]を選択中、▼ボタンを押す。 中心 ⇒ ▼下 ⇒ ▼上（⇒ ▼中心） * 4:3smallは、入力信号によっては正常表示されない場合があります。	✔	✔

取扱説明

入力（INPUT）メニュー

メニュー上の「入力（INPUT)」を選択すると、下表に示す機能を操作することができます。▲/▼ボタンで項目を選び、►/◄ボタンで操作を開始/終了します。

表4. 入力（INPUT）メニュー

項目	操作内容
RGB (RGB)	**RGB入力周波数の表示：** RGB入力の水平および垂直同期信号周波数を表示します。 * RGB入力のときのみ有効です。
VIDEO (VIDEO)	**ビデオ信号方式の選択：**▲/▼ボタンで信号方式を選択する。 入力信号に合わせて「NTSC」「PAL」「SECAM」「NTSC4.43」「M-PAL」または「N-PAL」の中から選択してください。 「AUTO」を選択すると、VIDEO/S-VIDEO入力時の「オートアジャスト（AUTO)」が有効になり、同時に「オートアジャスト（AUTO)」を実行して信号方式を自動選択します。 * 画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかない等）には信号方式を選択し直してください。 * 「オートアジャスト（AUTO)」の実行には10秒程度の時間がかかります。入力信号によっては正しく機能しない場合がありますが、この場合はAUTOボタンを押すと修正される場合もあります。
オートアジャスト (AUTO)	**RGB入力時の自動調整：**▲ボタンで「実行する(EXECUTE)」を選択する。 「実行する(EXECUTE)」を選択すると、水平位置、垂直位置、クロック位相、水平サイズが自動調整されます。アプリケーション表示では、ウィンドウを最大表示した状態で実行してください。 **VIDEO/S-VIDEO入力時の自動調整：**▲ボタンで「実行する(EXECUTE)」を選択する。 「実行する(EXECUTE)」を選択すると、入力信号に合った信号方式が自動的に選択されます。上項「VIDEO（VIDEO)」で「AUTO」が選択されている場合のみ有効です。 * 実行には10秒程度の時間がかかります。入力信号によっては正しく機能しない場合がありますが、この場合はAUTOボタンを押すと正しく機能する場合もあります。 * この機能は基本操作の「オートアジャスト（AUTO)」と同じ内容です。

表示（IMAGE）メニュー

メニュー上の「表示」を選択すると、下表に示す調節や設定を行うができます。▲/▼ボタンで項目を選び、操作を開始します。

SETUP INPUT IMAGE OPT.
KEYSTONE +1
BLANK
MIRROR
START UP

表5. 表示（IMAGE）メニュー

項目	操作内容
キーストン補正 (KEYSTONE)	**調節：**画像の下部を小さく◄ ⇔ ►画像の上部を小さく
ブランク (BLANK)	**ブランク画面色の選択：**◄/►ボタンで色を選択する。 * ブランクONまたは無信号によってブランクモードが設定されると画像は消去され、画面全体が選択された色になります。但し「初期画面（START UP)」で「表示しない（TURN OFF)」が選択されていると、無信号時のブランク画面は青色になります。
反転表示 (MIRROR)	**操作の開始/終了：**►/◄ボタンを押す。 **反転状態の選択：**▲/▼で反転状態を選択する。
初期画面 (START UP)	**操作の開始/終了：**►/◄ボタンを押す。 **初期画面表示の設定：**▲ボタンで「表示する（TURN ON)」を選択する。 **初期画面表示の解除：**▼ボタンで「表示しない（TURN OFF)」を選択する。 * 「表示しない（TURN OFF)」が選択されていると、無信号時のブランク画面は青色になります。

取扱説明

その他（OPT.）メニュー

メニュー上の「その他（OPT.)」を選択すると、下表に示す調節や設定を行うことができます。Ⓐ/Ⓥボタンで項目を選び、操作を開始します。

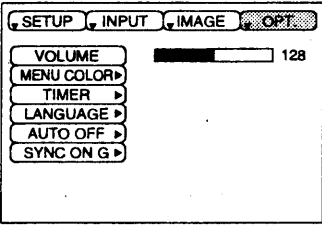



表6. その他（OPT.）メニュー

項目	操作内容
音量 (VOLUME)	**音量の調節**：小さく◁ ⇔ ▷大きく
メニュー色 (MENU COLOR)	**メニュー背景色の選択**：▷/◁ボタンを押して選択する。
タイマー (TIMER)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **タイマー初期値の設定**：Ⓐ/Ⓥボタンで設定（1～99〔分〕）する。
表示言語 (LANGUAGE)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **メニュー表示言語の選択**：Ⓐ/Ⓥボタンで選択する。
自動オフ (AUTO OFF)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **自動オフの設定**：Ⓐ/Ⓥボタンで時間を設定（1～99〔分〕）する。 設定した時間だけ無信号状態が継続すると、自動的にスタンバイモードが設定されます。 **自動オフの解除**：Ⓥボタンで「停止（STOP)」(0〔分〕）を選択する。 「停止（STOP)」が選択されていると、無信号時もスタンバイモードは設定されません。
SYNC ON G (SYNC ON G)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **SYNC ON Gの有効化**：Ⓐボタンで「有効（TURN ON)」を選択する。 **SYNC ON Gの無効化**：Ⓥボタンで「無効（TURN OFF)」を選択する。 * SYNC ON Gが有効のとき、入力信号によっては正常表示されない場合があります。この場合は、信号コネクタを外して無信号の状態にし、SYNC ON Gを無効にしてから、信号を再入力してください。

無信号時のメニュー

無信号時、「～に信号が入力されていません」または「～の信号は同期範囲外です」のメッセージ表示中にMENUボタンを押すと、下表のように、表示（IMAGE）メニュー、その他（OPT.）メニューと同様の調節や設定を行うができます。

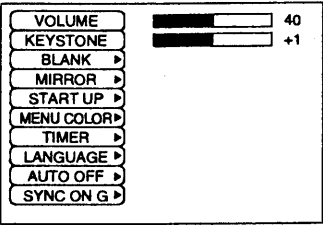



表7. 無信号時のメニュー

項目	操作内容
音量 (VOLUME)	**音量の調節**：小さく◁ ⇔ ▷大きく
キーストン補正 (KEYSTONE)	**調節**：画像の下部を小さく◁ ⇔ ▷画像の上部を小さく
ブランク (BLANK)	**ブランク画面色の選択**：◁/▷ボタンで色を選択する。 * ブランクONまたは無信号や仕様外信号入力状態の継続によってブランクモードが設定されると画像は消去され、画面全体が選択された色になります。但し「初期画面（START UP)」で「表示しない（TURN OFF)」が選択されていると、無信号時のブランク画面は青色になります。
反転表示 (MIRROR)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **反転状態の選択**：Ⓐ/Ⓥで反転状態を選択する。
初期画面 (START UP)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **初期画面表示の設定**：Ⓐボタンで「表示する（TURN ON)」を選択する。 **初期画面表示の解除**：Ⓥボタンで「表示しない（TURN OFF)」を選択する。 *「表示しない（TURN OFF)」が選択されていると、無信号時のブランク画面は青色になります。
メニュー色 (MENU COLOR)	**メニュー背景色の選択**：▷/◁ボタンを押して選択する。
タイマー (TIMER)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **タイマー初期値の設定**：Ⓐ/Ⓥボタンで設定（1～99〔分〕）する。
表示言語 (LANGUAGE)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **メニュー表示言語の選択**：Ⓐ/Ⓥボタンで選択する。
自動オフ (AUTO OFF)	(STOP) **操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **自動オフの設定**：Ⓐ/Ⓥボタンで時間を設定（1～99〔分〕）する。 設定した時間だけ無信号状態が継続すると、自動的にスタンバイモードが設定されます。 **自動オフの解除**：Ⓥボタンで「停止」(0〔分〕）を選択する。 「停止（STOP)」が選択されていると、無信号時もスタンバイモードは設定されません。
SYNC ON G (SYNC ON G)	**操作の開始/終了**：▷/◁ボタンを押す。 **SYNC ON Gの有効化**：Ⓐボタンで「有効（TURN ON)」選択する。 **SYNC ON Gの無効化**：Ⓥボタンで「無効（TURN OFF)」選択する。 * SYNC ON Gが有効のとき、入力信号によっては正常表示されない場合があります。この場合は、信号コネクタを外して無信号の状態にし、SYNC ON Gを無効にしてから、信号を再入力してください。

取扱説明

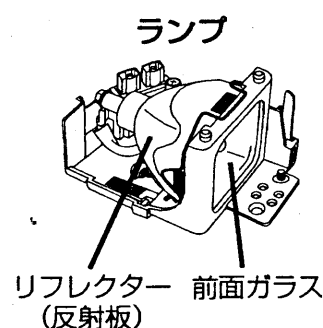
お手入れ方法

ランプについて

感電注意
高温注意
衝撃注意

ランプ交換の際は、必ず販売店にご連絡ください。
〔別売CP-S220J用ランプユニット：DT00301〕
ランプ交換の前には、電源をオフにして電源コードを抜き、約45分間待ってランプを十分冷ましてください。高温の状態での取扱いは、やけどや破裂などの原因になることがあります。

お守りください

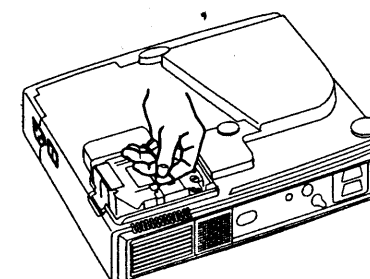
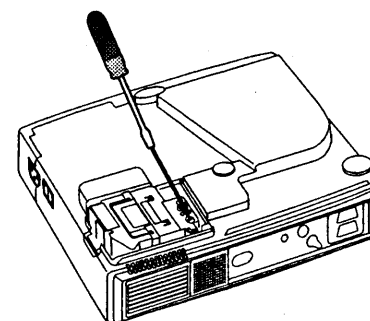
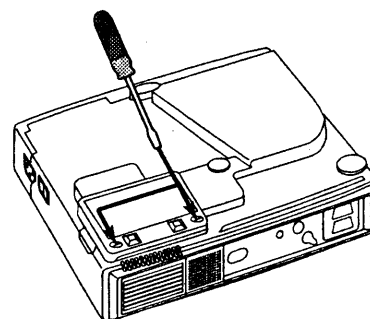
* 使用済みランプの廃棄については、一般的にはガラスやビンと同類として扱われますが、ランプを分別収集の対象に指定しているところもあり、廃棄を行う地域の条令や規則に従ってください。
* ランプはガラス製品のため、衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますのでていねいに取り扱ってください。
* ランプは長時間ご使用になると破裂する場合があります。古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。
* 万一、ランプが破裂したと思われるときは（破裂音がします）、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にランプ交換をご依頼ください。ランプは前面ガラスで覆われておりますが、まれにリフレクター（反射板）が傷つき、ガラスの破片によってプロジェクター内部を傷つけたり、取扱い時にけがの原因となる場合があります。
* ランプカバーを外した状態ではご使用にならないでください。

ランプ交換の目安

プロジェクターのランプには寿命があり、長時間使用しますと、映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりします。お早めの交換をお勧めします。
LAMPインジケータが赤色に点灯したり、電源オン時に「ランプを交換してください。(CHANGE THE LAMP)」などのメッセージ（P.19「表8」参照）が表示された場合は交換が必要です。

お知らせ　LAMPインジケータは、ランプ部が高温になった場合にも赤色に点灯します。ランプを交換する前に、電源をオフにして約20分程度おき、再び電源をオンにしてください。再度LAMPインジケータが赤色に点灯した場合はランプの交換が必要です。

お手入れ方法（つづき）

ランプの交換方法

1. プロジェクターの電源をオフにして電源コードを抜き、45分間以上おいて冷ましてください。
2. 新しいランプを準備してください。
3. プロジェクターが十分冷めたのを確認し、底面が上になるように静かに裏返して置いてください。
4. 図のようにして2本の止めネジをゆるめ、ランプカバーを外してください。
5. さらに、1本のネジをゆるめ、取っ手部分を持って静かにランプを取り外します。色むらなどの原因となりますので、ランプ収納部内部には触れないでください。
6. 新しいランプを取り付け、1本のネジをしっかり止めて固定してください。ネジの反対側もしっかりと押し込んでください。
7. ランプカバーをもとのように取り付け、2本のネジをしっかり止めて固定してください。
8. プロジェクターの上面が上になるように、静かに置き直してください。

お守りください

* ネジ締めはしっかりと確実に行ってください。不完全なネジ締めはけがや故障の原因となります。
* ランプカバーを外した状態ではご使用にならないでください。

ランプタイマーのリセット

ランプ交換後は必ずランプタイマーのリセットを行ってください。LAMPインジケータが赤色に点灯した後や、「ランプを交換してください。(CHANGE THE LAMP)」のようなメッセージが表示された後に交換を行った場合は、電源オンから10分以内に以下の作業を完了してください。10分を超えると電源が自動的にオフになります。

1. 電源をオンにして、リモコンのTIMERボタンまたはコントロールパネルのRESET㊀ボタンを約3秒間押してください。画面下部に「LAMP xxxx hr」のようなランプタイマー表示が現われます。
2. ランプタイマーが表示されている間に、リモコンのMENUボタンまたはコントロールパネルのRESET㊀ボタンを押してください。「LAMP xxxx □→■CANCEL」の表示が現われます。
3. ◀ボタンを押して「0」を選び、タイマー表示が消えるのを待ってください。

お知らせ　ランプを交換せずにランプタイマーをリセットしないでください。また、ランプ交換時にはランプタイマーを必ずリセットしてください。ランプタイマーが正しくリセットされないとメッセージなどの機能が正しく働きませんのでご注意ください。

取扱説明

エアーフィルターのお手入れ

お守りください	お手入れの際は、必ず電源をオフにし、電源コードを抜いてから行ってください。「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。

エアーフィルターは、約100時間を目安に、掃除を行ってください。
プロジェクターの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。エアーフィルター部を掃除機で掃除してください。

お知らせ	* 汚れが落ちなくなったり破損した場合は、交換が必要です。販売店にお問い合わせください。(別売CP-S220J用エアーフィルター：CP-S220J-001) * エアーフィルターを外した状態ではご使用にならないでください。 * ほこりなどによりエアーフィルターがつまりますと、画面上に「吸気口をチェックしてください（CHECK THE AIR FLOW)」のメッセージが現われたり、プロジェクター内部の温度上昇を防ぐために自動的に電源がオフになることがあります。

その他のお手入れについて

お守りください	お手入れの際は、必ず電源をオフにし、電源コードを抜いてから行ってください。「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。

内部のお手入れ
安全なご使用のため、2年に1度を目安に販売店へ清掃・点検をご依頼ください。ご自分でのお手入れは危険ですから絶対におやめください。

レンズのお手入れ
市販のレンズクリーニングペーパーで軽く拭いてください。レンズには手を触れないでください。

キャビネット、リモコンのお手入れ
ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸してよく絞り、軽く拭いてください。さらに、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。

お守りください	* ベンジンやシンナーなど上記以外の洗剤や薬品はご使用にならないでください。 * スプレーはご使用にならないでください。 * 硬いもので擦ったり、叩いたりしないでください。

OSDメッセージ

本機では電源オン時、下表のようなメッセージを表示することがあります。画面上にメッセージが現われたら、下表に従って対処してください。

表8. OSDメッセージ

メッセージ	内 容
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 *1)	ランプ使用時間が1700時間を超え、寿命に近づいています。 ランプの使用時間が寿命に達すると、自動的に電源がオフされます。新しいランプの準備と早めの交換をお勧めします。ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
CHANGE THE LAMP AFTER REPLACING LAMP, RESET THE LAMP TIMER *1)	
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 ＊＊時間後に 電源を切ります。 *1)	ランプの使用時間が寿命に達するまで、あと**時間です。 あと**時間使用すると、自動的に電源がオフされます。 P.16「ランプについて」に従ってランプを交換してください。 ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
CHANGE THE LAMP AFTER REPLACING LAMP, RESET THE LAMP TIMER THE POWER WILL TURN OFF AFTER ** hr *1)	
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 0時間後に電源を切ります。	ランプの使用時間が寿命に達しましたので、まもなく電源が自動オフされます。 すぐに電源をオフにし、P.16「ランプについて」に従ってランプを交換しください。 ランプを交換し、交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
CHANGE THE LAMP AFTER REPLACING LAMP, RESET THE LAMP TIMER THE POWER WILL TURN OFF AFTER 0 hr	
** に信号が入力されていません	入力信号がみつかりません。 信号入力の接続や、信号源の状態をご確認ください。
NO INPUT IS DETECTED ON ***	
** の信号は同期範囲外です	入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。 本機および信号源の仕様をご確認ください。
SYNC IS OUT OF RANGE ON ***	
吸気口をチェックしてください。	内部の温度が上昇しています。 電源をオフにし、20分程度おいて本機を冷ましてください。以下のことをご確認の上、再度電源をオンにしてください。 * 通風孔が塞がっていないか? * エアーフィルターは汚れてないか? * 周囲温度が35℃を越えていないか？
CHECK THE AIR FLOW	

お知らせ *1) このメッセージは約3分で自動消去しますが、電源オンごとに再現します。

取扱説明

インジケータランプ表示

POWERインジケータ、LAMPインジケータ、TEMPインジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。下表に従って対処してください。

表9. インジケータランプ表示

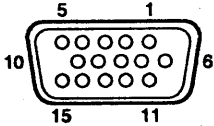
POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内容
橙色の点灯	消灯	消灯	スタンバイモードが設定されています。
緑色の点滅	消灯	消灯	ウォームアップ中です。お待ちください。
緑色の点灯	消灯	消灯	オン状態です。通常操作可能です。
橙色の点滅	消灯	消灯	冷却中です。お待ちください。
赤色の点灯	赤色の点灯	消灯	ランプが点灯しません。 内部が熱くなっている可能性があります。電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから再度電源をオンにしてください。再び同じ表示になる場合は、ランプを交換してください。
赤色の点灯	赤色の点滅	消灯	ランプまたはランプカバーが無いか、取り付けが不完全です。 電源を切って45分程度おき、本機を十分冷ましてから、ランプおよびランプカバーの取り付け状態を確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、販売店にご連絡ください。
赤色の点灯	消灯	赤色の点滅	冷却ファンが動作しません。 電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから、ファンに異物が挟まっていないかなどを確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、販売店にご連絡ください。
赤色の点灯	消灯	赤色の点灯	内部が熱くなっています。*1) 電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから、通風孔が塞がっていないか、エアーフィルターは汚れてないか、周囲温度が35℃を越えていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、販売店にご連絡ください。

お知らせ *1) 内部の温度が上がり過ぎると、安全のため電源が自動的にオフになり、インジケータが消灯することがあります。電源スイッチの「○」側を押して20分程度おき、本機を十分冷ましてからご使用ください。

故障かな？と思ったら（つづき）

故障と間違え易い現象

下表のような現象は故障ではない場合があります。修理をご依頼になる前に、下表に従ってもう一度ご確認ください。

表10. 故障と間違え易い現象

現象	故障でない事例	確認内容	ページ
電源が入らない	・主電源が入っていない。	・主電源を入れてください。	7,8
	・電源コードが抜けている。	・電源コードを正しく接続してください。	
映像も音声も出ない	・入力切り換えの設定が異なっている。	・入力信号を選択し直してください。	9
	・信号が入力されていない。	・接続線を正しく接続してください。	6,7
映像は出るが音声が出ない	・本機への配線が正しく接続されていない。	・接続線を正しく接続してください。	6,7
	・音量調節が極端に小さくなっている。	・音量を大きく調節してください。	10,14
	・消音状態になっている。	・MUTE㊙ボタンを押してください。	10
音は出るが映像が出ない	・本機への配線が正しく接続されていない。	・接続線を正しく接続してください。	6,7
	・明るさの調節が極端に暗くなっている。	・明るさを調節してください。	11
	・スライドレンズドアが閉じている。	・スライドレンズドアを開けてください。	8
色がうすい 色合いが悪い	・色の濃さ、色合い調整が正しく調整されていない。	・色の濃さ、色合いなど、映像の調節を行ってください。	11
映像が暗い	・明るさ、コントラスト調整が正しく調整されていない。	・明るさ、コントラストなど、映像の調節を行ってください。	11
	・ランプの寿命が近い。	・新しいランプと交換してください。	16
画像がぼやける	・フォーカスかH PHASEが合っていない。	・フォーカスとクロック位相を調節してください。	11

お知らせ 画面中に輝点や黒点が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

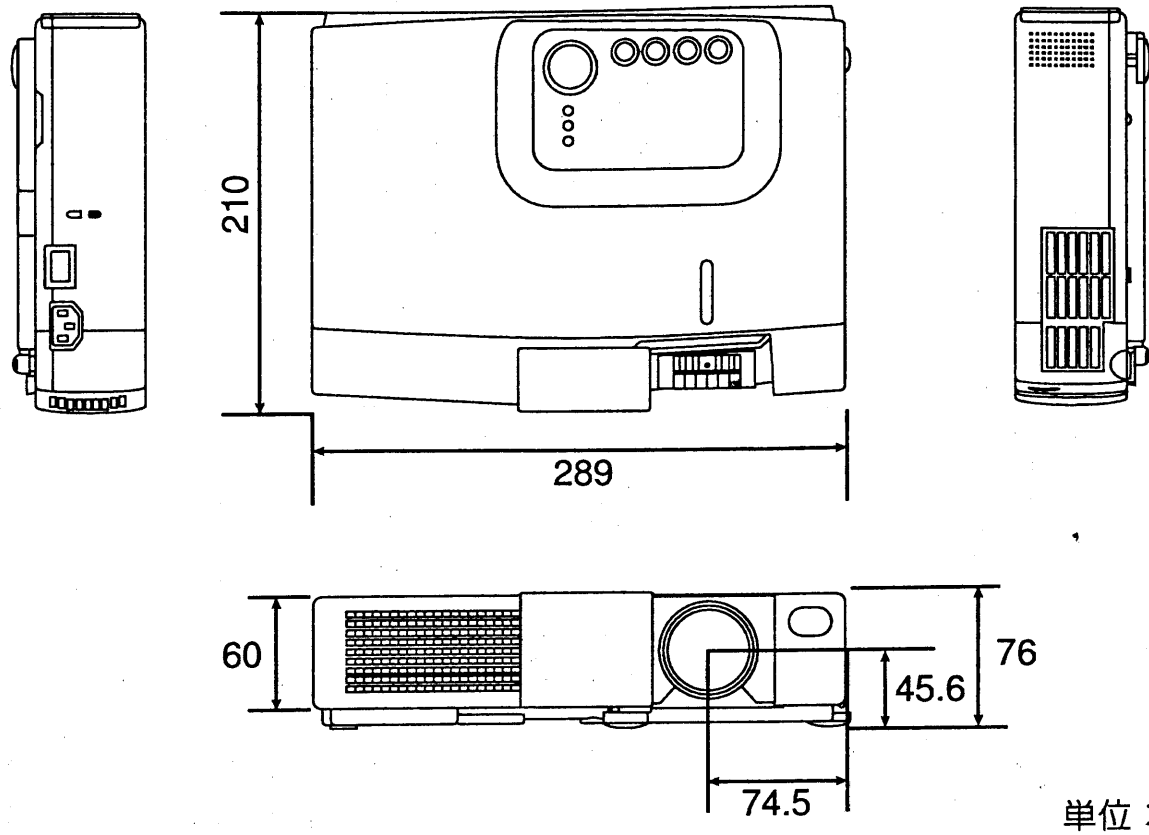
仕　　様　＊本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

お知らせ　この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみです。外国では使用できません。
This Liquid crystal projector set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

表11. 仕様一覧

項　　目		仕　　様			
品　　名		液晶プロジェクター			
形　　名		CP-S220J			
液晶パネル	パネルサイズ	1.8cm（0.7型）			
	駆動方式	TFTアクティブマトリックス			
	画素数	480,000画素（水平800×垂直600）			
レ　ン　ズ		ズームレンズ　F=2.0～2.3　f=18～21mm			
ラ　ン　プ		130W　UHB			
スピーカー		1.0W			
電　　源		AC100V（50/60Hz）			
消費電力		200W			
使用温度範囲		0～35℃（操作中）			
外形寸法		幅289×高さ76×奥行き210mm			
質　　量		2.4kg以下			
入力信号	RGB	映像：アナログ0.7Vp-p、75Ω終端（正極性） 水平/垂直同期：TTLレベル（正極性/負極性） 複合同期：TTLレベル Dサブ15ピン　シュリンク端子			
				7	接地（緑）
				8	接地（青）
				9	－
		1	映像入力（赤）	10	接地
		2	映像入力（緑）	11	－
		3	映像入力（青）	12	DDC端子
		4	－	13	水平/複合同期
		5	接地（DDC）	14	垂直同期
		6	接地（赤）	15	DDC端子
	VIDEO	1.0Vp-p、75Ω終端			
	S-VIDEO	ミニDIN4ピン端子		1	輝度信号：1.0Vp-p、75Ω終端
				2	色信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω終端
	AUDIO	200mVrms、47kΩ以下　(Max.3.0Vp-p) ステレオミニジャック（スピーカー出力は左右混在）			
CONTROL信号		Dサブ15ピン　シュリンク端子			

仕　　様（つづき）

外形寸法

単位：mm

保証とアフターサービスについて

お知らせ　この製品には保証書が添付されています。内容をよくご確認の上、所定事項を記入して、大切に保管してください。

* 本機に不調が見られる場合は、まず、P.19「故障かな？と思ったら」に従った確認をお願いします。これによって改善できない場合は、お買い上げの販売店またはサービス会社（添付「サービス会社一覧表」ご参照）にご相談ください。
* 保障期間の修理については、保証書に記載の内容に基づいて修理させていただきます。詳細は保証書をご覧ください。
* 保証期間経過後の修理については、販売店またはサービス会社（添付「サービス会社一覧表」ご参照）にご相談ください。修理可能な場合は、ご要望により、有料修理させていただきます。

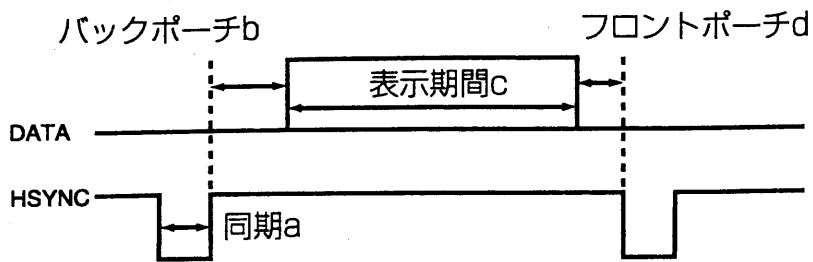
表12．コンピュータの信号例

解像度 H×V	fH (kHz)	fV (Hz)	規　格	信号モード	表示モード
640×350	37.9	85.1	VESA	VGA-1	拡大
640×400	37.9	85.1	VESA	VGA-2	拡大
720×400	37.9	85.0	VESA	TEXT	拡大
640×480	31.5	59.9	VESA	VGA-3	拡大
640×480	35.0	66.7		Mac13"mode	拡大
640×480	37.9	72.8	VESA	VGA-3(72Hz)	拡大
640×480	37.5	75.0	VESA	VGA-3(75Hz)	拡大
640×480	43.3	85.0	VESA	VGA-3(85Hz)	拡大
800×600	35.2	56.3	VESA	SVGA(56Hz)	
800×600	37.9	60.3	VESA	SVGA(60Hz)	
800×600	48.1	72.2	VESA	SVGA(72Hz)	
800×600	46.9	75.0	VESA	SVGA(75Hz)	
800×600	53.7	85.1	VESA	SVGA(85Hz)	
832×624	49.7	74.5		Mac16"mode	縮小
1024×768	48.4	60.0	VESA	XGA(60Hz)	縮小
1024×768	56.5	70.1	VESA	XGA(70Hz)	縮小
1024×768	60.0	75.0	VESA	XGA(75Hz)	縮小

お知らせ

＊パソコンは、機種によって複数の表示画面モードを持っているものがあります。この中には、本機では対応できないモードがあります。
＊本機とパソコンを接続する場合、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をご確認ください。
＊入力信号によってはフルサイズで表示しないものがあります。上の表示画素数を参照してください。

表13．初期設定信号

コンピュータ機種によっては、信号タイミングが異なることがあります。そのときはメニューの「垂直位置」、「水平位置」を参照して調節してください。

パソコン/信号源	水平信号タイミング（μs）			
	a	b	c	d
VGA-1(85Hz)	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA-2(85Hz)	2.0	3.0	20.3	1.0
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA-3	3.8	1.9	25.4	0.6
Mac 13"mode	2.1	3.2	21.2	2.1
VGA-3(72Hz)	1.3	3.8	20.3	1.0
VGA-3(75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA-3(85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA(56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7

パソコン/信号源	水平信号タイミング（μs）			
	a	b	c	d
SVGA(60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA (75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac 16"mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2

パソコン/信号源	垂直信号タイミング（ライン数）			
	a	b	c	d
VGA-1(85Hz)	3	60	350	32
VGA-2(85Hz)	3	41	400	1
TEXT	3	42	480	1
VGA-3	2	33	480	10
Mac 13"mode	3	39	480	3
VGA-3(72Hz)	3	28	480	9
VGA-3(75Hz)	3	16	480	1
VGA-3(85Hz)	3	25	480	1
SVGA(56Hz)	2	22	600	1

パソコン/信号源	垂直信号タイミング（ライン数）			
	a	b	c	d
SVGA(60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac 16"mode	3	39	624	1
XGA (60Hz)	6	29	768	3
XGA (70Hz)	6	29	768	3
XGA (75Hz)	3	28	768	1